

地域ぐるみで学校を支援

学校支援地域本部事業

●学校支援地域本部事業ってなあに？

「学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる環境を作る」と。この重要性が改めて見直されています。

その取り組みの一つとして、平成20年度から「子どもたちのために役立ちたい」という思いをもった地域の人や保護者が学校でのさまざまな活動を支援する「学校支援地域本部事業」が始まりました。現在、東小学校、林田小学校、高野小学校で取り組まれています。

●どうして「地域」なの？

近年、青少年の犯罪やいじめ、不登校など、さまざまな問題が発生し続けています。こうした背景の一つとして、核家族化、少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化、個人主義の浸透などによる「地域の教育力の低下」が指摘されているのです。



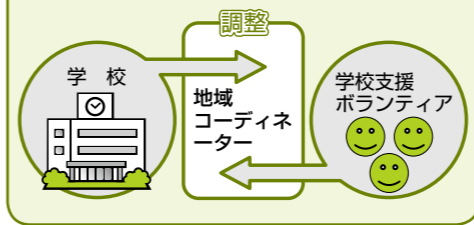
▲花壇の整備(東小学校)

●4つの効果を期待

- ①子どもたちが地域の大人とふれあい、多様な経験をする事で、子どもたちに「生きる力」を育むこと
- ②教師が子どもとしっかり向き合う時間が確保でき、教育活動により一層力を注ぐことができること
- ③地域の人が自らの経験や特技などを活用できる場が広がることにより「生涯学習社会」の実現につながる
- ④学校・家庭・地域の交流が深まることにより、相互の信頼関係が強まり、地域ぐるみで子どもを育てる機運の高まりや地域の活性化につながる

学校支援地域本部事業の仕組み

地域教育協議会(方針などの企画・立案)



▲読み聞かせボランティア(林田小学校)

●学校支援ボランティアってなあに？

学校支援ボランティアは市内のほとんどの小中学校で、各学校に応じた活動を行っています。

☆学校の要請に応じて、できる人が、できるときに、できることを支援します

☆人から強制されるものではなく、自発的意思によって行われます

☆先生や子どもと一緒に活動し、学校をより良くしていく活動です

☆ボランティア自身の経験や専門性を生かす活動です
☆地域のきずなが強まり、地域の活性化に役立つ活動です

できる人ができる活動をできる人ができる活動を

学校支援ボランティア



▲家庭科のミシン学習(東小学校)



東小学校 地域コーディネーター 長江 真理子さん

土居 東小学校では、平成18年に登下校時の見守り活動として、ボランティア組織が立ち上がりました。以来、毎日子どもたちに声を掛け、見守ってくださっています。地域の中で子どもたちは育っていると感じますね。ボランティア体制を整え、さらに充実させるため、平成21年度に「学校支援地域本部事業」を取り入れました。どのような形で支援していただく効果的か、月1回の定例会で検討しながら取り組んでいます。

長江 学習支援の頻度が高いのが東小学校の特徴ですね。町探検や地域の歴史学習、ミニン、裁縫習字、版画、読み聞かせ、委員会活動での花壇の手入れ、クラブ活動、休み時間を使った昔遊び、懇談時の託児を行っています。今年度は平均週1回の割合で学習支援に入っています。また、より支援が充実するよう、今年度から「子どもたちのユニケーションの取り方」などの

ミニ講座を開催し好評です。
土居 教育活動のニーズに合わせてボランティアの人に入ってもらいたく、学校の教育力は確実に向上し、子どもたちをさらに「豊か」に育てることができていると思っています。ありがたいことです。

長江 この事業のおかげで地域の人々が学校に足を運ぶ機会が増え、学校現場に対する理解が深まっています。

子どもとのふれあいが生きがい

対談
学校の中の

をしています。忙しい中でも子どもたちとのふれあいを優先し、活動することに生きがいを感じているボランティアの人が多くいますね。

土居 経験や専門性を生かし、支援することを通して充実感を感じていただけたら、これほど素晴らしいことはありません。

長江 一度支援に入ると「必要ならここに丁寧な対応ができた。子



東小学校 校長 土居 道宏さん

どもたちも楽しい学びができてい」と喜んでもらえ、再度先生から要請があります。自分たちが役立っていることが実感でき、信頼関係が築けてきているのを感じます。
土居 授業の中でボランティアの方が心を配り、励ましてくださるので、子どもたちは一層意欲的になりましたね。
長江 もっとボランティアの登録が増えて、幅広い年齢層のボランティアが日常的にかかわり合うことが大事だと思います。
土居 地域や保護者の一員として、子どもたちを「豊か」に育てるために自分もかわってみたい。多くの人に参加していただけたら本当にありがたいです。地域の学校の学校として、学校と地域の皆さんが双方方向につながり合えるように取り組みたいですね。地域でのきずなを深め、ふるさとを愛する子どもたちが育つことを願っています。

●具体的にどんな活動があるの？

学校支援ボランティアには、専門性や特技を生かす活動や誰でも参加できる活動など、さまざまな取り組みがあります。

【教育活動の支援】

地域の歴史学習、田植えや稲刈りなどの体験学習、読み聞かせ、家庭科のミニン学習、習字、クラブ指導など

【環境整備の支援】

草取りや花壇の整備、PTAと合同の奉仕作業など

【安全の支援】

登下校時の見守りやパトロール、校外活動の引率補助など

地域は人材の宝庫

学校支援ボランティアとして活動しませんか

- 「地域の歴史を子どもたちに伝えたい」
- 「野菜の作り方を教えたい」
- 「本の読み聞かせの経験が生かせる」
- 「花壇の整備ならできるかも」
- 「安心して登下校できるように見守りたい」

子どもたちの健やかな育ちを願う気持ちがあれば、わたしたち一人ひとりが学校を支援することができます。

子どもたちのために学校でボランティア活動がしたいと思ったら、生涯学習課または地域の小中学校にお問い合わせください。学校・家庭・地域が一体となり、未来を担う津山の子どもたちを育んでいきましょう。



▲田植えの体験学習(高野小学校)

問い合わせ先 生涯学習課 32-2118